

各位

上場会社名 株式会社アメイズ
 代表者 代表取締役社長 穴見賢一
 (コード番号 6076)
 問合せ先責任者 代表取締役副社長 児玉幸子
 (TEL 097-524-3301)

第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

令和5年1月13日に公表いたしました令和5年11月期第2四半期業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、令和5年11月期通期業績予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想数値と実績との差異について

(1) 令和5年11月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績との差異

(令和4年12月1日～令和5年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,400	百万円 1,300	百万円 1,100	百万円 700	円 銭 46.04
実績値(B)	8,219	1,991	1,823	1,196	78.72
増減額(B-A)	819	691	723	496	
増減率(%)	11.1	53.2	65.7	71.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (令和4年11月期 第2四半期)	6,727	1,273	1,072	723	47.59

(2) 差異の理由

売上高につきましては、社会・経済活動の正常化に向けた動きが加速したことにより、主要顧客であるビジネス、工事関係のお客様の利用が堅調に推移したこと、また人流の活発化に伴いゴールデンウィーク期間を中心に観光・レジャー利用のお客様が増加しました。その他、九州地区における半導体工場の新設による宿泊需要の増加、広島サミット開催に伴う特需があったこと等の理由により、前回発表予想より8億19百万円増加し82億19百万円となりました。利益につきましては、前述した売上高の増加要因等により、営業利益は前回発表予想より6億91百万円増加し19億91百万円、経常利益は前回発表予想より7億23百万円増加し18億23百万円、四半期純利益は前回発表予想より4億96百万円増加し11億96百万円となりました。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 令和5年11月期通期業績予想数値の修正（令和4年12月1日～令和5年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,000	百万円 2,700	百万円 2,300	百万円 1,500	円 銭 98.66
今回修正予想(B)	16,500	3,900	3,500	2,200	144.70
増減額(B-A)	1,500	1,200	1,200	700	
増減率(%)	10.0	44.4	52.2	46.7	
(ご参考) 前期実績 (令和4年11月期)	14,507	3,132	2,758	1,736	114.22

(2) 修正の理由

当第2四半期累計期間までの上期は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、抑制されていた消費の反動や広島G7サミット開催に伴う特需等の一過的な増加要因があった上に、主要顧客であるビジネス・工事関係のお客様の利用が引き続き堅調であったことから、当初の予想を超えて伸展しております。下期においても引き続き主要顧客であるビジネス・工事関係のお客様の利用が堅調に推移すること、また、経済・社会活動の正常化に向けた動きから、ビジネス・観光共に宿泊需要は増加するとの見通しから、売上高、各利益は前回発表予想数値を上回ると予想しております。

※上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上